

平成 27 年度 事業 報告

公益社団法人 港区シルバー人材センター

I はじめに

平成 27 年度は、公益社団法人移行後 5 年目を迎え、4 つの運営の原則、9 つの重点事項を掲げ運営してきました。

なかでも年度重点取組として「新ふれあい館等新たな事業拠点の確保と事業内容の検討を進める」「港区の新基本計画事業を踏まえた新たな就業開拓に努める」の 2 つを推進してきました。広尾駅のバリアフリー化工事に伴って一時移転をしていたみなとふれあい館が、南麻布 5 丁目の広尾駅新駅舎のビルの 3 階・4 階に移転しました。今までみなとふれあい館では、パソコン教室とカルチャー講座だけでしたが、今後は他の事業にも活用できるようにしていきます。

また、港区シルバー人材センター基本計画（平成 26～28 年度）は、当初 3 つの柱と 23 事業の計画を立て推進をしていましたが、2 年目の平成 27 年度は、重点的に進める 7 事業に限定して取り組みました。

事業実績では、契約金額は前年度を 2.4% 上回って過去最高を記録しました。就業率は、会員数の増加により実人員が増えたにもかかわらず 0.2 ポイントの減少となりました。

II 基本方針

1 センター全体運営の原則

- (1) 事業の理念「自主・自立」、「共働・共助」の浸透

ホームページ、シルバーニュース、事務局だより、入会説明会等を通じて随時、会員への浸透を図りました。

- (2) 事業運営の原則「透明性」「民主性」「公平性」の実行

定時総会、地域班会議、事務局だよりなどの機会をとらえ、会員への情報提供を随時行い、ホームページで情報開示を行いました。

- (3) 基本姿勢「行動指針」と「努力目標」の周知

センターの運営に当たり「次に繋がる行動と人の輪を大切に」の行動指針、「福祉に頼らず・福祉を支える高齢者に」の努力目標を掲げ、シルバーニュース、事務局だより等で会員への周知を図りました。

- (4) 就業スローガン「親切」「丁寧」「誠実」「着実」及び「安全就業」の徹底例年同様、事務局だよりを通じてスローガンの周知徹底を図りました。安全就業対策を各種計画し、安全就業と健康管理の実現に努めました。

2 事業運営の重点事項

平成 27 年度は、事業計画に定めた以下の 9 項目を重点事項としてセンター運営を積極的に進めてきました。

- (1) 新基本計画の着実な実施に努めます。
- (2) 事故を未然に防止する対策を優先度の高いものに絞って実施し、事故の減少を目指します。
- (3) 就業場所の開拓・創出に努め、会員の就業機会の増加につなげます。
- (4) 行政や地域の諸団体等と連携し、地域や時代のニーズに適応した事業の開発・実施に努めます。
- (5) 新規発注に応えられる人材を確保するため、会員のスキルアップを図ります。
- (6) 就業環境の整備や会員研修の充実等により就業の質の向上に努め、発注者の満足度を高めます。
- (7) ボランティア活動を拡充し、地域社会に貢献できる組織を目指します。
- (8) 広報活動・普及啓発活動の充実を通して、センターの認知度を高めます。
- (9) 会員の意見要望の適切な把握に努め、会員目線に立ったセンター運営を目指します。

3 年度重点取組

また、事業計画に定めた以下の 2 項目を重点的に取組むべき事項として、推進してきました。

- **新ふれあい館等新たな事業拠点の確保と事業内容の検討を進めます。**
- **港区の新基本計画事業を踏まえた新たな就業開拓に努めます。**

Ⅲ 平成27年度の概況

1 会 員 数

平成27年度末会員数は、1,565人となり男女別内訳は、男性770人、女性795人で、男女比は男性49.2%、女性50.8%でした。

平成27年度も、1+1運動として会員に口コミによる会員紹介、新聞折り込みによる入会促進チラシの配布、広報「みなと」への入会促進・事業紹介記事の掲載、みなと区民まつりでのPRチラシの配布、港区コミュニティ情報誌「Kissポート」への広告掲載等を積極的に実施し、会員確保に努めました。

年度の入退会者数は、入会が199人(前年度168人)、退会が143人(同186人)でした。前年度末会員数の1,509人と比較すると、実質56人(前年度比3.7%)の増となりました。

2 契 約 金 額

(1) 契約金実績

平成27年度の年間契約金額は、平成26年度の実績677,227千円を約16,439千円(2.4%)上回り、693,666,072円となりました。

契約金額の事業別内訳は、公共事業が前年度に比べ約17,020千円(5.2%)の減少で311,215,218円、民間事業(独自事業含む。)が前年度に比べ約33,459千円(9.6%)の増加で382,450,854円となりました。

公共事業の減少は、年間契約の芝浦港南支所等清掃が平成26年度で終了し、全戸配布(暮らしのガイド・資源とごみの分別ガイドブック)が平成26年度単年度の契約だったため、大きく減少する要因となりました。

(2) 契約件数及び就業延人員

平成27年度の契約件数は、前年度比較220件(3.3%)増加の6,827件、就業延日人員は、前年度比較1,461人日(1.0%)増加の144,562人日となりました。

契約件数及び就業延人員における事業別の対前年度比は、公共事業が契約件数で2.7%減少、延日人員で7.0%減少しました。民間事業は契約件数で5.8%増加し、延日人員では3.5%の増加となりました。

(3) 職群別就業実績

平成27年度の職群別就業実績の契約金額においては、管理群が約329,117千円(47.4%)、続いて一般作業群が約176,429千円(25.4%)、サービス群が約91,646千円(13.2%)、事務整理群が約37,675千円(5.4%)、技能群が約36,474千円(5.3%)、技術群が約22,321千円(3.2%)等となっています。

職群別就業実績の特徴は、昨年と同様に管理群と一般作業群で事業実績の約72.8%を占めていることです。

(4) 公民事業比

公共事業については、地方自治法に基づく港区の政策目的随意契約の活用による児童登下校誘導業務や学校施設開放管理業務などは微増でしたが、年間契約の芝浦港南支所等清掃が平成 26 年度で終了したことや全戸配布（暮らしのガイド・資源とごみの分別ガイドブック）が平成 26 年度単年度の契約だったことにより、実績が約 5.2%減少しました。公民比においては、平成 26 年度 48.5 : 51.5 対して平成 27 年度 44.9 : 55.1 と公共事業比率が 3.6 ポイント減少しています。

(5) 年間就業実人員

平成 27 年度の年間就業実人員は、1,199 人と平成 26 年度の 1,165 人と比べ増加しました。民間事業のモニター業務は、比較的誰にでもできる内容のものが多く、未就業者でも就業に就けるよう積極的に受注したことで多くの会員が就業できたこと等が要因と考えています。

(6) 年間就業率

平成 27 年度の年間就業率は、76.6%と前年度 77.2%から 0.6 ポイント減少しました。会員数が増加し、就業実人員は微増のため年間就業率が減少しました。一人でも多くの会員が就業できるよう、仕事の情報を事務局だよりで提供するなど就業機会の提供を広く行いました。

IV 事業の実施状況

1 受託事業（定款第1号事業）

センターは、公共性・公益性の高い公益社団法人として地域社会に貢献する事業活動を展開してきました。

区 分	実施回数等	備 考
①受託事業	通年（6,827件/H27年度）	港区を始め、東京都・企業・一般家庭等からの受託業務を履行しました。
②孫の手サービス	通年（227件/H27年度）	高齢者（60歳以上）や障がい者を対象とした生活支援事業。電球交換や、話し相手など日常のサポートを行いました。
③就業機会創出員の設置	毎月14日程度。配置：1人（補助金による事業）	就業機会創出員を設置し、対応可能な就業分野の開拓を行いました。特に問い合わせ先への即日訪問を実施し、受注拡大に繋げました。

2 自主事業（定款第5号事業）

センターは、会員の持つ豊富な知識や経験を活かした自主的で創意的な活動が展開できるよう自主事業を支援しました。

平成27年度は、自転車リサイクル事業、みなとふれあい館事業、ガイド事業と指定自主事業の4事業を実施しました。

(1) 自転車リサイクル事業

区 分	実施回数等	備 考
自転車の再生・販売事業	販売台数 345 台 ・作業連絡所販売分 317 台 販売日：毎月第2日曜日 ・エコライフフェア 10 台 ・区民まつり 18 台	リサイクル自転車の売上げの一部 34,500 円を港区社会福祉協議会に寄付しました。購入者に対する自転車の無料点検を実施しました。

(2) みなとふれあい館事業

みなとふれあい館は南麻布3丁目の民間ビルに移転して4年目を迎えましたが、

地下鉄広尾駅の工事終了に向け、元の南麻布5丁目施設に移転する準備を進めました。また、基本計画と連動して事業のあり方を検討し、規程を整備しました。

区 分	実施回数等	備 考
① パソコン 教室事業	受講生 延 1,500 人 ・無料体験講座 ・マンツーマンコース講座 ・個人レッスン、訪問レッスン ・スマートフォン・タブレット講座等	会員の自主企画・提案により講座を実施し、スマートフォン、タブレット講座も昨年度同様実施しました。
② カルチャー 講座事業	受講生 延 3,515 人 講座 延 171 講座 (3ヶ月ごとに開講期を設定)	英語・スペイン語等の語学講座、囲碁・気功・体操・デッサン・書道・日本舞踊・フラダンス・生け花・歌謡曲歌唱指導・数学・文章の書き方講座等の各種講座・教室など

(3) ガイド事業

歴史ガイドは、事業開始から3年目を迎え、新たに「ぶら〜りシリーズ」の企画数を増やし、リピート客の増加に繋がりました。

区 分	実施回数等	備 考
ガイド事業	青山霊園著名人墓所めぐり 2コース実施 2企画、2回開催 参加者 延 19 人 歴史散策ぶら〜りシリーズ 13コース実施 7企画、13回開催 参加者 延 207 人	「ぶら〜りシリーズ」にレインボーブリッジツアーを含む3企画を追加し、参加者数の増加に繋がりました。参加者アンケートでは、9割以上の参加者から「満足」の評価を得ています。

(4) 指定自主事業

区 分	実施状況	内 容
① ソーイング サービス事業	平成28年1月からソーイングサービス事業を再開しましたが、フロント業務は配置していません。	窓口受付、依頼内容の手配、点検・納品、請求事務など
② 軽作業室統 括事業	月～金曜日で月20日以内 9時～17時の6時間以内1人就業	依頼内容の手配、作業段取り、点検・納品など
③ 家事援助 サービスコー ディネーター 事業	月～金曜日で月20日以内 9時～17時の6時間以内 2人ローテーション就業	発注者宅への訪問、依頼内容の手配、研修会の実施など

区 分	実施状況	内 容
④ 運搬業務	月～金曜日で月 23 日以内 8 時 45 分～16 時 45 分の 7 時間 以内、4 人ローテーション就業	植木道具、襖・障子、作業室 業務の原材料等の搬入・搬出、 納品、車両整備など
⑤ 入会時就業 (トライアル)	申込み 121 人の内 61 人就業 延 166 日	新入会員に対するセンターの 体験就業として、有栖川宮記 念公園での希望者による清掃 業務を実施

3 普及啓発事業 (定款第 5 号事業)

シルバー人材センター事業を区民等に理解してもらうため、次の広報活動・普及啓発活動を実施し、会員の増強並びに受注開拓等の拡大に結びつけました。

区 分	実施回数等	備 考
① センター広報 紙の発行	年3回 5、9、1月 6, 900部	「みなとシルバーニュース」を作成し、 会員の就業活動を中心にセンターの事 業活動を広く周知しました。
② ホームページ による情報発 信	随時更新	法人として必要な基本情報を公開し、併 せて事務局だよりや仕事の募集等の情 報を毎月発信しました。また、YouTube を活用しセンター紹介するなど、イベン ト情報、会員の働き方紹介等を新着情報 として配信しました。
③ ポスター・リ ーフレット等 の作成	センターパンフレ ット 生活支援サービス 事業内容案内 年2回	センターパンフレットや生活支援サー ビスの内容案内チラシを作成し、事業 P R 活動を行いました。
④ 事務局だより の発行	月1回 (年12回) 約19, 300部	就業情報や会員にとって必要な情報を 提供し、情報の共有化を図りました。
⑤ 広報強調月間 事業	PR用品配布 年1回 10月 1, 000 個配布	区民まつり会場でチラシなど PR 用品 を手渡し、高齢者の入会勧誘及び地域に 対する事業 PR を行いました。
	ポスター掲出 年 1 回 10 月 60 枚	会員募集のポスターを区設掲示板及び ちいばす車内に掲出しました。
	センターCMの放 映 年 1 回 10 月	独自に作成した CM をケーブルテレビ とちいばすチャンネルで放映しました。

区 分	実施回数等	備 考
⑥ イベント事業への参加	年6回 5月：エコライフフェア 10月：区民まつり・地域げんきフェア 11月：健康長寿inみなと・あっぷりんぐ高輪フェスティバル 2月：赤坂青山地域交流会	エコライフフェアではリサイクル自転車の販売、区民まつりではソーイング小物及びリサイクル自転車の販売で出店しました。 健康長寿 in みなとでは、PR用品の配布、来場者に休憩場所の提供、PR用DVDの上映を行いました。また、地域産業げんきフェア、あっぷりんぐ高輪フェスティバル、赤坂青山地域交流会ではセンターの写真やパンフレットを使って就業活動・事業活動のPRを行いました。
⑦ 会員増強月間事業	ポスター掲出 年1回 2～3月60枚	区設掲示板に入会促進のポスターを掲出し入会を呼びかけました。
	センターCMの放映 年1回 2月	独自に作成したCMをケーブルテレビとちいばすチャンネルで放映しました。
⑧ 会員募集の広告記事の掲載等	事業広告 年5回 6、9、11、2、3月	会員増強と事業PRのため、会員募集の広告を港区コミュニティ情報誌「Kissポート」に掲載しました。
	新聞折込チラシ 年7回 6、7、10、12、1、2、3月	新聞折込チラシを作成し、自転車駐輪場管理業務や児童登下校誘導業務、家事援助サービス等の会員募集や、就業相談説明会のPRを実施しました。
⑨ みなとふれあい館事業PRの強化	随時	都営バス車内広告、ちいばす車内広告等を活用し、ホームページ等で講座内容を積極的に発信しました。
⑩ 1+1(ワンプラスワン)運動の実施	随時	事務局だよりで実施状況を周知、さらに紹介カードを作成してより正確な紹介状況を把握する仕組みを構築しました。
⑪ 広報「みなと」等の活用	広報みなと 年2回 9、2月	会員募集・仕事の発注依頼及びシルバー事業のPRを行いました。
	広報みなと高齢者特集号 年1回 6月	高齢者特集号でセンターの入会案内と「孫の手サービス」の事業PRを行いました。
	高齢者サービス案内「いきいき」 年1回 6月	高齢者サービスの内容をまとめた冊子「いきいき」にシルバーの事業案内と「高齢者の仕事の相談」「孫の手サービス」の紹介をしました。
	区ホームページ「生涯教育情報一覧」への情報提供	ふれあい館で行っているパソコン教室、カルチャー講座の講座内容について情報提供しました。

区 分	実施回数等	備 考
⑫ 電柱広告	センター周辺 6ヶ所	センター本部付近6カ所に電柱広告を掲出し、初めて来所される方への案内及びPRを図りました。
⑬ 都バス車内アナウンス	随時	都バス06系統の最寄停留所案内アナウンスの後にシルバーの案内を放送し、来所される方への案内及びPRを図りました。
⑭ 情報提供	取材協力 年1回 12月	「月刊シルバー人材センター」を発行している公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会に対して、ガイド事業の取材協力を行いました。

4 調査・研究事業（定款第4号事業）

基本計画実施や事故原因分析等に関する研究等を行いました。

区 分	実施回数等	備 考
① 顧客満足度調査の実施	随時	平成28年度実施に向け、外部委託も視野に入れて検討しました。
② 事故調査分析の研究	随時	会員の就業に伴う事故等に関し、ヒヤリハット事例を募集し事故発生場所において会員本人から発生場所や状況等の確認を行いました。また、発生した事故等を安全管理委員会で分析、検討しました。
③ 基本計画の実施の検討	随時	基本計画計上事業の実施方法等を検討しました。

5 相談事業（定款第4号事業）

高齢者就業に関する相談を次のように行いました。

区 分	実施回数等	備 考
① 一般相談事業	「一般相談」 随時	就業に関する相談を窓口等で随時実施しました。
② 出張相談事業	「高齢者の仕事の相談」 年10回、第2月曜日	港区役所区民相談室を会場に、理事が相談員として対応しました。
	「就職面接会」 年4回 6、9、12、3月 相談者：15人	みなとしごと55主催の「就職面接会」に就業相談コーナーを設け、相談員として担当理事が対応しました。

区 分	実施回数等	備 考
③ イベント出張 相談事業	「港区地域げんきフェア」 年1回 10月 センターブース訪問者 約50人	港区産業・地域振興支援部産業振興課主催の「港区地域げんきフェア」にブースを出展し、来場者へのセンター活動PRとあわせて入会案内を行いました。
	「シニアのための就職・就業相談説明会」 年1回 11月 相談者：4人（内、入会説明会参加者2人）	みなとしごと 55 と共同で「シニアのための就職・就業相談説明会」を実施しました。
	「健康長寿inみなと入会相談会」 年1回 11月 相談者：3人（内、入会説明会参加者2人）	港区立介護予防総合センター ラクっちゃ・港区保健福祉支援部高齢者支援課主催の「健康長寿 in みなと」に参加し、入会希望者への対応を行いました。
④ 特別相談事業	「確定申告説明会」 年1回 2月 相談者：15人	麻布税務署と連携し、会員向けに配分金収入に係る確定申告説明会を実施しました。

6 就業機会開拓提供事業（定款第1号事業）

(1) 就業機会の開拓提供

区 分	実施回数等	備 考
① 各種団体との 交流・連携	芝地区総合支所高齢者支援連絡会 7、2月 参加者：延2人（理事）	地区内の関係団体による高齢者支援の情報・意見交換の場に関係理事が参加しました。
	麻布地区総合支所高齢者支援連絡会 7、2月 参加者：延2人（理事）	
	赤坂地区総合支所高齢者支援連絡会 7月 参加者：1人（理事）	
	高輪地区総合支所高齢者支援連絡会 2月 参加者：1人（理事）	
	港区との懇談会 10月 参加者：14人（理事、監事）	港区の所管部長、課長との意見交換を行いました。
② 新たな就業 情報提供の検 討	ホームページ内の就業情報掲載 事務局だより・就業情報閲覧 実施回数：24回	ホームページに会員専用の就業情報を掲載し、希望者から就業の申込みを受付けました。

(2) 就業体制の整備事業

就業環境整備と業務運営に関するグループ別の打合せを延 198 回開催しました。

仕事別グループなど	実施回数等
1 駅前自転車整理業務（全体会・リーダー会）	年 13 回
2 衛生害虫防除薬剤投入業務（全体会）	年 1 回
3 菊池寛実記念 智美術館管理業務（全体会）	年 3 回
4 ソーイングサービス業務・小物グループ（打合せ会）	年 11 回
5 植木剪定業務（全体会・打合せ会）	年 15 回
6 表具作業グループ（打合せ会）	年 1 回
7 児童館日曜管理業務（全体会・統括リーダー会・リーダー会）	年 13 回
8 スポーツセンター関係施設管理業務（3 現場、各全体会）	年 3 回
9 港勤労福祉会館管理業務（全体会）	年 2 回
10 田町駅東口・品川駅港南口・白金高輪駅・浜松町駅北口・こうなん星の公園・三河台公園駐輪場管理業務（リーダー会・現場別全体会）	年 2 回
11 いきいきプラザ管理業務（全体会）	年 3 回
12 パソコン教室講師会議	年 12 回
13 公園清掃グループ（全体会）	年 1 回
14 福祉・家事援助サービス（全体会）	年 2 回
15 高齢者会食サービス事業配膳等業務（全体会・栄養士会議）	年 14 回
16 小・中学校施設開放管理業務（全体会・打合せ会・調整員会議）	年 25 回
17 区政資料室業務（全体会）	年 1 回
18 都民コンサート設営業務（打合せ会）	年 1 回
19 リビングサービスグループ（全体会）	年 1 回
20 公共施設清掃グループ（グループ会）	年 2 回
21 作業室軽作業グループ（全体会・班長会）	年 3 回
22 筆耕グループ（全体会・打合せ会）	年 2 回
23 児童登下校誘導業務（調整員会議）	年 12 回
24 みなとパーク駐輪場管理業務（全体会）	年 3 回
25 ガイド研究会（定例会・個別検討会・意見交換会）	年 15 回

仕事別グループなど		実施回数等
26	リサイクル自転車全体会	年 1回
27	ありすいきいきプラザ喫茶コーナー業務全体会	年 1回
28	みなとふれあい館受付業務（全体会）	年 12回
29	全戸配布業務（各地区別全体会）	年 5回
30	新橋・芝公園・東麻布区民協働スペース管理業務（全体会）	年 6回
31	区設掲示板管理・ポスター掲出業務（全体会）	年 1回
32	旧乃木邸管理業務（全体会）	年 6回
33	高齢者買い物支援業務（全体会）	年 2回
34	民間駐車場管理業務（全体会）	年 2回
35	民間建物受付管理業務（全体会）	年 1回

7 研 修 事 業 （定款第 2 号事業）

(1) 入会説明会

入会希望者に対し事業理念、就業までの仕組み、就業上の留意点などについて理解、浸透を図るため、新規入会研修との位置付けで入会説明会を実施しました。

区 分	実施回数等	備 考
入会説明会	毎月実施 説明会：237人 面談：210人	毎月第2火曜日にセンターの概要説明、第3火曜日に個別に就業希望等を聞く入会面談を行いました。

(2) 就業マナー講習

初めて就業に就く会員を対象に、就業会員の質の向上を図り発注者の信頼を高めるために、就業の仕組みや接遇マナーに関して就業マナー講習を実施しました。

区 分	実施回数等	備 考
就業マナー講習	毎月1回開催 参加者：125人	就業上のルールや接遇マナーに関し基礎講義とロールプレイングによる講習を実施しました。

(3) 組織活動研修・事業活動研修

東京都シルバー人材センター連合（東京しごと財団）主催等の研修に参加し、会員のレベルアップを図りました。

区 分	実施回数等	備 考
① 各種派遣研修	年 3 回 参加者：延 10 人	東京しごと財団主催のシルバー人材センターフォーラムや安全大会、自転車安全講習会に役員・委員・会員を派遣しました。
② 第 4 ブロックシルバー人材センター合同研修	年 4 回 7、9、11、1 月 参加者：16 人	ブロックで共同開催した「交通安全講習会」、「A E D 講習」（会場：品川区センター）並びに、「事故未然防止講習会」（会場：渋谷区センター）に関係者が参加しました。
③ シルバー人材センター職域拡大技能講習・就業支援講習	1 種、2 コース 参加者：3 人	剪定・除草グループ：「除草と刈込」1 人、「植木剪定（初級）」2 人
④ 家事援助コーディネーター就業支援講習	年 1 回 7 月 参加者：2 人	家事援助コーディネーターに必要な知識、技能の習得を目的に、しごと財団の講習に参加しました。

(4) 会員技能研修

会員の就業に関する知識・技能を向上させるため、センター独自に技能研修を実施しました。

区 分	実施回数等	備 考
① 接遇・個人情報保護研修	年 1 回 33 グループ 7 日、14 回 参加者：371 人	就業で、直接区民と接することの多い現場を中心に接客対応・個人情報保護の研修を実施しました。 （学校施設、児童館、子ども家庭支援センター、エコプラザ、駐輪場、自転車集積所、運動場、勤労福祉会館、いきいきプラザ、区政資料室、区駐車場、他）
② A E D・普通救命講習	年 1 回 12 グループ 3 日、3 回 参加者：79 人	直接区民と接することの多い就業現場を中心に A E D（自動体外式除細動器）の操作方法と救急救命について実技講習を実施しました。 （学校施設、駐輪場、区民センター、いきいきプラザ、スポーツ施設、他）
③ パソコン基礎操作「シニア I T 研修」	毎月開催、45 回 参加者：延 74 人	区民・会員等を対象にパソコンの講座を無料で実施しました。
④ スマートフォン・タブレット型端末講習	毎月開催、96 回 参加者：150 人	区民・会員等を対象にスマートフォン・タブレット端末の講習会を無料で実施しました。

区 分	実施回数等	備 考
⑤ 児童登下校誘導業務研修	年 2 回 3 月 参加者:110 人	児童登下校誘導業務の履行に必要な知識、動作等を愛宕警察署の協力を得て実施しました。

(5) 後継者養成研修

技能系職種に関する知識・技能を後継会員へ継承するため、実技研修を実施しました。

区 分	実施回数等	備 考
植木剪定技能昇格の判定研修	年 1 回 10 月 参加者:24 人	造園業者による技能程度昇格判定研修を行い、後継者養成を図りました。

8 会員活動推進事業 (定款第 3 号事業及び第 5 号事業)

(1) 地域班活動推進事業

センターの基盤となる地域班の活動を活性化させる事業を展開しました。

区 分	実施回数等	備 考
① 地域班連絡会	年 1 回 1 月 参加者:52 人	班長・副班長による連絡会を開催し、情報伝達や意見交換を図り連携を強化しました。
② 地域班長会議	年 2 回 5、1 月	各地域班の班長が集いセンター事業の概要講義と地域班運営についての意見交換を行いました。
③ 地域班会議	各地域班 年 2 回	全ての地域班(17 地域班)で班会議を 2 回開催し交流を深め、希望があった班で落語講座を実施しました。

(2) 職群班・仕事別グループ活動

区 分	実施回数等	備 考
① 仕事別グループリーダー等会議	年 2 回 6、12 月 延 142 人参加	全ての仕事別グループのリーダー等による会議を開催し、安全就業の徹底と事故防止、熱中症対策などの安全就業対策、就業における注意事項等及び適正就業に関する注意喚起、作業別マニュアル等について意見交換を行いました。
② 職群班・仕事別グループ会議	随時	仕事別グループ毎に就業会員が会議を行いました。 開催状況の一覧は、18～19 ページの就業体制の整備事業のとおりです。

(3) 事業推進組織活動

総務部門と事業部門に分けた委員会と、理事担任制とでセンター運営の活動課題に対応しました。活動の詳細は、34 ページV 組織（諸会議の活動状況）2 専門委員会及び理事担任制のとおりです。

(4) 基本計画の推進

23事業のうち、7事業を重点的に進める事業として検討を重ねました。

区 分	実施回数等	備 考
① 会員の就業スキル（技能）の向上と資格制度の導入	2回	会員のPCスキルの向上を図るため、日商主催「キータッチ2000」の資格制度の導入を進めました。
② ワンプラスワン運動	6回	ワンプラスワンに貢献した個人会員のインセンティブルールを検討した結果、会員紹介カードを導入し、貢献が顕著な会員へ総会にて表彰することを決定しました。27年度にて検討終了。
③ ICT（情報通信技術）の活用の推進	10回	センターと会員間の情報伝達のために、NRI システム“Smile to Smile”を検討しました。配分金明細書がデータ送信できるなどパソコンやスマートフォンの操作が必要となるなど、利用上の諸問題を検討しました。
④ 事務局業務への会員活用	3回	事務局からの情報提供を参考に検討しました。
⑤ 会員の事業提案立上げ制度の導入	5回	「会員の事業立上げ制度ガイド」と「新規事業提案書（アイデア提案書、具体的提案書の2種類）」を作成し、実際に募集を行いました。 また、PT内からの立上げ事業モデル「エキストラ人材業務検討会」のメンバーを募集・決定し、制度の修正とモデルケースの役割を担いました。
⑥ 介護予防事業への参画	4回	介護予防総合センターでの就業機会獲得とシルバー人材センターとしての介護予防への寄与の両面から検討を進めることとし、現状問題点等の情報収集を行いました。

区 分	実施回数等	備 考
⑦ 地域班活動の自立化・活性化	2回	地域班設置要綱を改訂し、班役員の任期を定め、新しい班役員の道しるべとなる地域班活動マニュアルを作成し、新班役員にオリエンテーションを行うこととしました。

(5) 会員表彰

公益法人の事業趣旨を基にした表彰を行いました。

区 分	実施回数等	備 考
会員表彰	年1回、26人	会員表彰16人、地域班長・副班長表彰8人、センター役員表彰1名、特別感謝状1人

(6) 社会奉仕活動事業

公益目的に適う事業の一環として社会奉仕活動について、社会奉仕活動委員会が企画・検討を行いました。

区 分	実施回数等	備 考
① 清掃ボランティアの推進・支援	シルバー人材センター感謝デー清掃ボランティア 年1回 参加者：210人	センター設立記念日に17地域班で一斉に地域の道路等の清掃活動を行いました。
	自主企画による清掃ボランティア	白金地域班：年1回 参加者：24人
	区民まつり 年1回 参加者：22人	区民まつりの会場清掃を行いました。
② 福祉支援活動の推進	使用済み切手の寄付 7,900g プリペイドカードの寄付 264枚	事務局日より、地域班会議で呼びかけ、集めた使用済み切手、プリペイドカードを港区社会福祉協議会へ寄付しました。
	未使用タオル、木綿の布の寄贈 年4回	タオル、木綿の布の寄贈を事務局日より、地域班会議で呼びかけ、区内高齢者施設に寄贈しました。
	地域交流カフェ 年4回(月1回) 参加者延224人	センター会員や地域住民の交流の場を南麻布いきいきプラザとの共催で、12月からお休み処“いっぷく”を実施しました。

区 分	実施回数等	備 考
③ ボランティア活動	コーラスボランティア 練習：年 12 回 延 299 人 訪問：年 21 回 延 215 人	高齢者施設へ訪問し、コーラスや手品を披露しました。
	街・道案内ボランティア 年 8 回 参加者延 31 人	地域貢献活動として街や道の案内を麻布十番駅前で行いました。
	有栖川宮記念公園 ・公園ガイドボランティア養成講座 登録会員 7 人 ・花壇ボランティア 水やり：年 48 回 延 129 人 花植替え：年 4 回 延 33 名	有栖川宮記念公園指定管理者のカリキュラムにより公園ガイドボランティアの養成講座に参加しました。 花壇ボランティアとして、週 1 回 2～3 人での水やり、花柄つき等を行い、年 4 回、花の植替えを行いました。
④ その他のボランティア活動	港区アドプトプログラム 週 2 回 参加会員 10 人	高輪地域班が区とアドプトプログラム協定を締結し、高輪くすのき公園の花壇の花の植え込み作業、水やり、花柄摘みを行いました。
	みなとタバコルール啓発キャンペーン 啓発品配布、清掃活動：年 8 回 参加者延 24 人	麻布・高輪地区総合支所管内ボランティア活動に協力しました。
	大東京マラソン祭り 2016 年 1 回 参加者 27 人	東京しごと財団と連携して、三菱自動車本社前と区立芝公園で大東京マラソンの沿道の観客誘導等のサポート活動をしました。

9 安全就業・適正就業対策事業（定款第 5 号事業）

(1) 安全就業対策事業

「安全対策基本計画」に基づいて就業についての安全対策を推進しました。

区 分	実施回数等	備 考
① 平成 27 年度安全就業方針等の確認	年 1 回 4 月	安全就業対策の方針等を確認しました。
② 安全就業強化月間事業	年 1 回 7 月	会員の交通事故発生防止のため交通安全講習会を開催し、安全就業意識の高揚のための P R 及び安全標語等の募集を実施しました。
③ 安全就業推進巡回	年 5 回 8 月 (2 回) 12 月 (1 回) 2 月 (2 回)	安全就業推進のため巡回数を増やしました。 少人数での巡回を実施し、具体的な現場の把握に努めました。 また、植木剪定・除草作業は、傷害・賠償事故が 5 件発生したため、委員全員で巡回を行いました。 事故の発生減少と重篤事故の未然防止のため、植木・除草班の定例会に安全管理委員長が出席(2 回)し、安全就業の周知に努めました。
④ 安全就業講習事業	年 2 回 6、12 月	仕事別グループリーダー会議で、事故報告、ヒヤリハット事例募集、就業現場安全項目点検依頼等を行いました。
⑤ 区民のための健康教室 (高齢者向け)	年 1 回 2 月 参加者：98 人 (うち一般区民 28 人)	港区医師会並びに介護予防総合センターとの共催で、介護予防総合センターの事業説明や高齢者向け健康教室「ロコモティブシンドロームについて」の講演会を開催しました。
⑥ 熱中症対策等	年 1 回 5～10 月	熱中症予防対策として、情報提供や対策用品の配布を行いました。 前年同様早期に対応し、9 月までの新入会員にも配布しました。 今年度もデング熱などの感染症予防対策として公園清掃、植木・除草、登下校等のグループに虫よけスプレーを配布しました。
⑦ 第 4 ブロック共同事業への参加	年 4 回 7、9、11、1 月 参加者：17 人	第 4 ブロックシルバー人材センター共同開催の「交通安全講習」及び「事故未然防止講習会」、「自転車安全講習会」に参加しました。

区 分	実施回数等	備 考
⑧ 安全就業パトロールの対応	年1回 1月	東京しごと財団の安全就業パトロール指導員による平成27年度の対象現場2カ所の巡回と、センターの安全就業対策事業の調査に対応しました。
⑨ 東京しごと財団等の「安全就業関係事業」への協力	随時	東京しごと財団の安全標語募集へ協力を行いました。 また、東京しごと財団とメーカーが共同開発した自転車用ヘルメットの販売等に協力しました。
⑩ 救急箱の充実	随時	新規に受託した現場や未設置の現場での就業中のケガ等に備えるために、救急箱を配布しました。
⑪ 傷害・賠償事故 (平成27年度事故概要報告のとおり)	傷害事故 13件	就業中の事故9件、就業先からの帰宅時の事故4件で、前年度より6件増加しました。
	賠償事故 5件	植木剪定・除草作業での就業時の確認不足や不注意による事故3件、民間駐車場管理での機械操作時の確認不足による事故2件。前年度より1件増加しました。
⑫ 転倒予防講習会の実施	年1回 8月 参加者：48人	会員の就業中や就業途上の転倒事故を防止し、会員が安全に安心して就業を行うため、転倒予防講習を開催しました。

(2) 交通安全講習

交通安全意識の向上を図り、交通事故の防止を目的に講習会を実施しました。

区 分	実施回数等	備 考
交通安全講習	年2回 7月 47人 11月 34人 参加者：延81人	麻布警察署の協力で自転車のDVD講習を行いました。 各就業グループに呼び掛け、より多くの会員が受講できるようにしました。

(3) 就業体力測定事業

体力測定を通じて会員が就業に対する適性度を認識し、測定結果を通して自己の健康管理や体力維持に役立てることを目的に就業体力測定事業を実施しました。

区 分	実施回数等	備 考
就業体力測定	年 1 回 9 月 参加者:65 人	6 種類の体力測定を実施し、実施結果を参加者に配布しました。 また、体力測定終了後、健康にちなんだ講演を行いました。

(4) 適正就業対策事業

就業現場において実態を点検し、適正な就業の維持に努めました。

シルバー人材センターでの就業は、「臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業」と定められていることを踏まえ、実態的な雇用関係とみなされないよう仕事別リーダー会議をはじめ、グループ会議等で説明を重ね、周知を図ってきました。

また、発注者に対して契約前に請負・委任契約の説明や確認を行い、適正就業の推進に努めました。適正就業に対する厚生労働省の対応は、今後ますます厳しくなることが予想されるため、センターとして一層の適正就業を推進します。

区 分	実施回数等	備 考
① 適正就業点検の実施	年 1 回 11 月	会員の就業状況の実態を点検し、適正就業を推進しました。また、仕事別リーダー会議においても適正就業の内容について周知を図りました。
② 受託契約の適正自主点検の実施	随時	就業対策委員会により、受託契約の適正について、自主点検を実施しました。
③ 適正就業巡回調査への対応	年 1 回 12 月	センターの受託事業が適正に行われているか、東京しごと財団の適正就業指導員による、契約書、仕様書、就業実態の確認等の調査に対応しました。
④ 就業マニュアルの整備	随時	仕事別グループマニュアルを現場別に適宜整備しました。

10 事業実施拠点・本部拠点の整備 (定款第5号事業)

区 分	実施回数等	備 考
みなとふれあい館の整備	随時	東京メトロ日比谷線広尾駅のバリアフリー化工事終了に伴い、3月末に移転作業を終了しました。新しいみなとふれあい館の運営・整備について、区所管課と調整しました。

1 1 組織活動・事務局体制（定款第 5 号事業及び法人事務）

(1) 法人維持活動

区 分	実施回数等	備 考
① 定時総会	年 1 回 6 月	監査報告、事業報告を受けて、決算、役員選任を決議しました。
② 理事会	年 12 回	毎月理事会を開催し、会務運営や業務執行等について審議しました。6 月 2 回開催、8 月休会
③ 内部監査	年 4 回	監事による前年度決算監査、中間監査、年度末現金監査を受けました。また、専門委員会に監事がオブザーバー参加することにより、理事の業務執行状況について業務監査を受けました。
④ 公認会計士による監査	年 2 回 5、11 月	公認会計士に監査を依頼し、平成26年度決算と27年度中間監査を実施しました。

(2) 執行会議

執行会議を定例で開催しました。

区 分	実施回数等	備 考
執行会議	年 12 回	三役が事業の重要事項の方針・執行に関して協議し、理事会の運営に当たりました。

(3) 役員研修

東京シルバー人材センター連合(東京しごと財団)主催等の研修に参加しました。独自研修として、先進地視察を行いました。

区 分	実施回数等	備 考
① センター役員研修	年 2 回 参加者：5 人	東京しごと財団が主催する役員研修に参加しました。
② 先進地視察	年 1 回 2 月	シルバー派遣事業を行っている石川県シルバー連合、加賀市シルバーを訪問し、先進地の取り組みについて視察しました。

(4) 事務局体制

事業運営上の課題については、職員業務会議（毎月 1 回開催）、事業推進係会議（毎月 1 回開催）を通じて情報を共有し、職員相互の課題となるよう努めました。

さらに港区や東京しごと財団等との連携は事務局長を中心に対応しました。

他シルバー人材センターとの共同で行う職員研修や東京しごと財団主催の職員研修、外部団体が主催する講習会等に積極的に職員を参加させました。

平成 27 年度事故概要報告

No.	区分	性別 年齢	発生日	職 群	発 生 状 況	傷害・損 害の状況
1	傷害	女 77	4 月 27 日	青山いき いきプラ ザ管理業 務	業務終了後、帰りを急いでいたため、施設を出てすぐの歩道で転倒した。	顎骨折
2	賠償	男 78	5 月 13 日	民間駐車 場管理業 務	車両を立体駐車場に案内し、ターンテーブルを回転させた際、周囲の安全確認を怠ったため、車両の後部左バンパーを駐車場の柱に接触させ傷つけた。	後部左バンパー等修理
3	傷害	男 72	6 月 4 日	駅前自転 車整理業 務	バイクでの帰宅時、左から入り込んできた自転車と追突し転倒した。	打撲（ひざ、腕、胸）
4	賠償	男 64	6 月 11 日	植木剪定 業務	剪定作業時、誤ってインターネット用通信ケーブル（1 本）を切断した。	配線修理
5	賠償	男 74	6 月 25 日	民間駐車 場管理業 務	車両を立体駐車場に案内し、ターンテーブルを回転させた際、周囲の安全確認を怠ったため、車両の後部右バンパーを駐車場の柱に接触させ傷つけた。	後部右バンパー等修理
6	傷害	女 72	6 月 26 日	家事援助 サービス	自転車での帰宅時、ボタンを留めていない雨具（ポンチョ）のフードが落ちてきた。片手で直そうとしたがハンドル操作を誤り、坂の下り始めて自転車ごと前のめりに転倒した。	左足の捻挫、打撲
7	傷害	男 72	7 月 4 日	園芸エリ ア作業	就業中、同僚から時間内に終了しないとわれ、焦って作業を行った。花ばさみの刃のもとの部分で右指の親指をはさみ、切れて出血した。	右第一指の切創
8	傷害	男 73	7 月 24 日	植木剪定 業務	伐採作業時、樹木本体をチェーンソーで約 30 cm 毎に切断していた際、誤って手が滑りチェーンソーの刃に指があたり、出血した。	左手中指、第一関節部分、切り傷

No.	区分	性別 年齢	発生日	職 群	発 生 状 況	傷害・損 害の状況
9	傷害	男 68	8月16日	芝公園に ぎわい広 場管理業 務	園内見回り中、熱中症の症状により意識が朦朧となり倒れた。その際、左手首を地面についたため負傷した。	左手首、 亀裂骨折 (ひび)
10	傷害	男 73	9月18日	障害保健 福祉セン ター駐車 場管理業 務	駐車場内巡回作業中、雨で濡れた路面で滑り後方に転倒した際、左足を挫いた。	左足くる ぶし骨折
11	傷害	男 75	9月25日	白金高輪 駅自転車 一時保管 所管理業 務	ワイヤーロープで連結していた廃棄自転車の南京錠を外した際、ピンと張った状態のワイヤーロープが跳ねて目に当たった。	右眼球表 層角膜炎
12	傷害	女 77	11月21日	公園清掃 業務	清掃作業時、片足を石の上に置き落葉を手で集めていた。石が動きとっさに右手をついたが転倒した。	右手首部 分骨折
13	賠償	男 66	11月21日	植木剪定 業務	剪定作業中、切り落とした枝等で発注者宅の壁を傷つけた。(外壁を約2~3cm削り取った)	家屋の外 壁部分
14	傷害	女 66	11月27日	有栖川宮 記念公園 清掃業務	箒で掃き清掃作業中、石に躓き前方に転倒した際、顔面を強打した。	打撲、擦 り傷(顔 面、右手 他)
15	傷害	男 73	12月25日	植木剪定 業務	作業中、刃物で誤って手の指を切ってしまった。	右人差し 指の先部 分、切り 傷
16	傷害	男 79	1月6日	品川駅駐 輪場管理 業務	駐輪場での就業を終え帰宅する際、品川駅構内で点字ブロックに躓き転倒した。	左足膝奥 部分骨折
17	賠償	男 74	3月15日	植木剪定 業務(除 草)	除草作業中、刈払機の操作を誤り、小石を弾き飛ばした。小石が発注先の窓ガラスに当たりヒビが入った。	窓ガラス 4枚
18	傷害	男 70	3月17日	公園清掃 統括業務	車に荷物を搬入中、ドアの角に頭をぶつけて出血した。	頭部、切 り傷

V 組 織（諸会議の活動状況）

1 総会・理事会・地域班連絡会等

各会議設置目的の諸事項を審議しました。主な審議事項等は下表のとおりです。

会議の名称	開催年月日	議 事
第 1 回 理 事 会	平成 27 年 4 月 22 日	<ul style="list-style-type: none">・ 入会者（4 月分）について・ 会員表彰について・ 正会員会費未納者等の対応について
第 2 回 理 事 会	5 月 14 日	<ul style="list-style-type: none">・ 平成 26 年度事業報告について・ 平成 26 年度決算及び監査報告について・ 平成 27 年度会計関係書類の廃棄処分について
第 1 回 班 長 会	5 月 27 日	<ul style="list-style-type: none">・ シルバー人材センター事業の現状について・ 社会奉仕活動委員会からのお知らせ・ 企画組織委員会からのお知らせ・ 定時総会運営協力依頼について
第 1 回 仕事別リーダー 一会議	6 月 3 日	<ul style="list-style-type: none">・ 安全就業対策関連事項について・ A E D 講習について・ 就業体力測定について・ 仕事別マニュアルについて・ 適正就業巡回について・ 就業マナー講習について・ センター P R ビデオの紹介
定時総会	6 月 18 日	<ul style="list-style-type: none">・ 第 1 号報告 平成 26 年度監査報告の件・ 第 2 号報告 平成 26 年度事業報告の件・ 第 1 号議案 平成 26 年度決算の件・ 第 2 号議案 第 19 期役員選任の件
第 3 回 理 事 会	6 月 18 日	<ul style="list-style-type: none">・ 会長、副会長、常務理事の互選について・ 代表理事及び業務執行理事の選任について・ 入会者（5 月分、6 月分）について
第 4 回 理 事 会	6 月 29 日	<ul style="list-style-type: none">・ 平成 27 年度事業推進機関・安全管理委員会の委員について・ 区外在住会員について
第 5 回 理 事 会	7 月 22 日	<ul style="list-style-type: none">・ 入会者（7 月分）について・ 基本計画の執行について

会議の名称	開催年月日	議 事
第 6 回 理 事 会	9 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入会者（8、9 月分）について ・ 区外在住会員について ・ 要綱等の一部改正及び廃止について
第 7 回 理 事 会	10 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入会者（10 月分）について ・ 会長及び常務理事による職務執行状況報告について ・ 区外在住会員について ・ シルバー人材センター感謝デーについて ・ 委員長合同会議について
第 8 回 理 事 会	11 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会長の互選について ・ 入会者（11 月分）について ・ シルバー派遣事業の実施について ・ 職員給与規定の改定について
第 2 回 仕事別リーダー 一会議	12 月 3 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全就業対策について ・ 就業における注意事項について ・ 適正就業について ・ 就業基準の改正について ・ 事故未然防止について
第 9 回 理 事 会	12 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入会者（12 月分）について ・ 就業の基準等に関する要綱の一部改正について ・ 特定個人情報の取扱いに関する基本方針等の制定について ・ 平成 28 年度事業計画・予算編成方針について
第 10 回 理 事 会	平成 28 年 1 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入会者（1 月分）について ・ 就業の基準等に関する要綱の一部改正について ・ 就業年限を設けない業務について ・ 平成 28 年度契約更新・就業確認について ・ 就業用パーソナルコンピューター管理要領の制定について
地 域 班 連 絡 会	1 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 派遣事業について ・ 各委員長からの報告
第 2 回 班 長 会	1 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 派遣事業について ・ シルバー感謝デー総括について ・ 地域班活動マニュアルについて ・ 会員紹介カードについて

会議の名称	開催年月日	議 事
第11回 理 事 会	2月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入会者（2月分）について ・ 区外在住会員について ・ 就業延長者について ・ 平成28年度事業計画について ・ 平成28年度予算編成方針について ・ パソコン講習会事業実施要綱及びカルチャー講座支援事業実施要綱一部改正について
第12回 理 事 会	3月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会長及び常務理事による職務執行状況報告について ・ 入会者（3月分）について ・ 正会員会費未納者等の対応について ・ 平成28年度配分金について ・ 平成27年度補正予算について ・ 平成28年度予算について ・ シルバー派遣事業に係る個人情報適正管理要綱の制定について ・ 個人情報保護規定等の整備について ・ 職員就業規則等の改正について ・ 新基本計画の策定について

2 専門委員会及び理事担任制

平成27年度の事業運営推進機関の専門委員会及び理事担任制の活動は、8種、延102回の活動を自主的に展開しました。

(1) 企画組織委員会

活動課題 活動【11回】	① 事業運営推進機関の所掌事務について ② イベント出張相談について ③ 地域班連絡会、班長会のあり方について ④ 地域班活動マニュアルについて ⑤ 基本計画について
-----------------	--

(2) 広報委員会

活動課題 活動【11回】	① 広報紙の発行について ② ホームページによる情報発信について ③ 広報強調月間事業の実施について ④ 区民まつり等外部イベントへの参加について ⑤ 会員増強月間について
-----------------	--

(3) 研修委員会

活動課題 活動【12回】	① 入会説明会の運営について ② 入会のしおり作成について ③ 就業マナー講習について ④ 未就業会員を対象としたフォローアップ研修について
-----------------	--

(4) 社会奉仕活動委員会

活動課題 活動【12回】	① ボランティア活動の推進について ② 既存ボランティアの活動の拡充について ③ 新たなボランティアの取組みについて
-----------------	--

(5) 就業対策委員会

活動課題 活動【11回】	① 適正就業対策のあり方検討について ② 就業マニュアルの整備・充実について ③ 就業率向上について ④ 就業の基準等に関する要綱の整備について ⑤ 就業体力測定事業の実施について ⑥ 就業現場視察の実施について ⑦ 区外在住会員・就業期限延長者の対応について
-----------------	--

(6) 事業開発委員会

活動課題 活動【11回】	① 新規開拓事業分野の検討について ② 基本計画の推進・検討について ③ 顧客満足度調査の検討について ④ ふれあい館カルチャー講座の新体制について ⑤ ふれあい館PC事業の見直しについて ⑥ 派遣事業参入の調査・研究について
-----------------	---

(7) 地区担当理事

活動課題 活動【32回】	① 港区の各地区総合支所との連携について ② 地域班活動への情報提供について
-----------------	---

(8) 中長期計画推進担当理事

活動課題 活動【2回】	① 基本計画計上事業の取り組み状況の執行管理について ② 次期中長期計画策定方針の検討について
----------------	--

3 安全管理委員会

活動課題 活動【13回】	① 安全対策の推進について ② 安全啓発事業の実施について ③ 健康管理対策の実施について
-----------------	---

4 配分金検討委員会

平成28年度の配分金基準の検討を行いました。

活動課題 活動【1回】	平成28年度の配分金基準について
----------------	------------------

VI 付属明細書

平成27年度事業報告に、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありませんでした。